

第26回 京都の秋 音楽祭

ロンドン交響楽団 京都公演

London
Symphony
Orchestra

SIR SIMON RATTLE

これぞ、オーケストラ。

LONDON SYMPHONY ORCHESTRA

ロンドン交響楽団 サー・サイモン・ラトル(音楽監督)

2022. **9.30** **金** 19:00開演
[18:15開場]
**京都コンサートホール
大ホール** Friday, 30 September 2022 at 7 p.m.
Kyoto Concert Hall Main Hall

S:26,000円 A:23,000円 B:20,000円 C:17,000円 D:10,000円

[会員*] S:25,000円 A:22,000円 B:19,000円 C:16,000円 D:9,000円

※学生割引/シニア割引(70歳以上)/障がいのある方割引:各席1,000円割引
(京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。窓口でご本人様が証明書等をご提示ください)
*会員:京都コンサートホール・ロームシアター京都Club会員及び京響友の会の会員が対象です。

※都合により内容等が変更になる場合がございます。なお、それに伴う払い戻しはいたしません。あらかじめご了承ください。※チケットの転売は固くお断りいたします。万が一そのような行為が頻繁に見受けられた場合、転売席のチケットをお持ちのお客様にご本人様確認を行い、ご入場をお断りする場合がございますのであらかじめご了承ください。
※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、開催方針が変更となる可能性がございます。最新の情報は京都コンサートホールホームページをご覧ください。



未就学のお子様は会場にお入りいただけません。託児室(要予約/1歳以上/定員有/有料1,000円)をご利用いただけます。9月23日(金)までに京都コンサートホール事務所(075-711-2980)へご予約ください。

Program

ベルリオーズ:序曲「海賊」作品21

Hector Berlioz: Overture Le Corsaire op.21

ドビュッシー:劇音楽《リア王》から
〈ファンファーレ〉〈リア王の眠り〉

Claude Debussy: Fanfare and Le sommeil de Lear from King Lear

ラヴェル:ラ・ヴァルス

Maurice Ravel: La Valse

ブルックナー:交響曲第7番 ホ長調
(B-G.コールス校訂版)

Anton Bruckner: Symphony No 7 in E major (B-G. Cohrs revised Edition)

チケットのお問い合わせ・お申し込み

●京都コンサートホール
075-711-3231 10:00~17:00
第1・3月曜休館
(休日の場合は翌平日)

●24時間いつでも!オンラインチケット購入
<https://www.kyotoconcerthall.org>

京都コンサートホール 検索

●プレイガイド

○ロームシアター京都
075-746-3201 10:00~19:00 / 年中無休
[臨時休館日を除く]
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合あり

○カジモト・イープラス
www.kajimotoeplus.com
050-3185-6728 オペレーター対応
10:00~18:00

カジモト・イープラス会員先行受付

2022.6.18日 10:00- 21日 18:00
・先行受付専用番号
050-3185-6713 オペレーター対応
10:00~18:00

○チケットぴあ
<https://t.pia.jp> [Pコード:212-755]

○ローソンチケット
<https://l-tike.com> [Lコード:53805]

○e+ (イープラス) <https://eplus.jp>

主催:京都市/京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
KAJIMOTO
後援:ブリディッシュ・カウンシル

サイモン・ラトル×ロンドン交響楽団の黄金コンビ、待望の日本ファイナル・ツアー！

SIR SIMON RATTLE × LONDON SYMPHONY ORCHESTRA

世界屈指のオーケストラ「ロンドン交響楽団(LSO)」と共に、これまで6年にわたり様々なプロジェクトやレコーディングに取り組んできたサー・サイモン・ラトル。2022/2023シーズンで音楽監督のポストから退任することが決まっているラトルにとっても、そして、LSOのファンである我々にとっても、今回の日本ツアーは特別なものとなるに違いありません。

京都公演では、ラトルの十八番であるブルックナー《交響曲第7番》をメインに、ベルリオーズやラヴェルなど、色彩豊かな珠玉のオーケストラ作品をお届けします。世界最高の指揮者と評されるラトルとロンドン交響楽団。「英国最強タッグ」最後の京都公演をどうぞお聴き逃しなく！



©Mark Allen



©Renald Mackechnie

SIR SIMON RATTLE



©Oliver Helbig

ロンドン交響楽団

ロンドン響(LSO)は1904年創設。「多くの人々に素晴らしい音楽を届けたい」という起業家精神のもと、楽団員により運営される。英国最高にして世界屈指のオーケストラとして伝統のサウンドをもち、各時代の一流の演奏家と名演を繰り広げている。現在は音楽監督サー・サイモン・ラトル、首席客演指揮者にジャンンドレア・ノセダとフランソワ・グザヴィエ・ロト、桂冠指揮者マイケル・ティルソン・トーマスを中心に結束して活動を行っている。2021年3月には、アントニオ・パッパーノが2024年9月から首席指揮者に就任することが発表された。

年間60回を超えるコンサートを行い、世界の音楽都市も定期的に訪れる。またライブストリーミングやオンデマンドによるインターネット配信も視野に入れた公演企画や放送提携を通して、世界各地の聴衆とふれあっている。自主レーベル「LSOライヴ」は大成功で、教育、メディアにも深く関わる。「スターウォーズ」などの映画音楽でも有名である。<https://lso.co.uk/>

サー・サイモン・ラトル

英国リヴァプール出身。バーミンガム市響を率いたあと、2002～18年にはベルリン・フィルの芸術監督として活躍。2017年からロンドン響の音楽監督となり、23年からは名誉指揮者となる。また同年からバイエルン放送響の首席指揮者に就任予定。

現在に至るまで一貫してクリエイティブな活動を続け、70以上の録音は高い評価を得、また教育プログラムの推進など新しい分野も開拓し、数多くの賞を受賞している。個人としても名誉ある賞をいくつも授与されており、1994年にはナイトの称号を与えられた。

客演も多く、ウィーン・フィル、シュターツカペレ・ベルリン、ボストン響、フィラデルフィア管をはじめ、世界各地の主要楽団と長年にわたる強い信頼関係を築いている。オペラの指揮でも、近年ではMETでの《ばらの騎士》、ベルリン国立歌劇場でのヤナーチェク《マクダロス事件》、エクサンプロヴァンス音楽祭での《トリスタンとイゾルデ》など、注目すべき成果を残している。



京都コンサートホール

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地の26
地下鉄烏丸線「北山」駅 ①③出口より南へ徒歩5分

- 公式HP <https://www.kyotoconcerthall.org>
- Facebook 京都コンサートホール Kyoto Concert Hall
- Twitter 京都コンサートホール @KCH_Kyoto
- Instagram 京都コンサートホール @kch_kyoto
- YouTube 京都コンサートホール
- 公式ブログ <https://www.kyotoconcerthall.org/blog>

